

「カタンドゥーヴァ養護学校マイクロバス整備計画」 署名式

去る 11 月 29 日(金)午後2時より当館において、カタンドゥーヴァ障害者を支える親と友の会に対する我が国の草の根・人間の安全保障無償資金協力の贈与契約署名式を当館福嶋教輝総領事とネルソン・バサネッチ会長との間で行いました。

署名後、福嶋総領事は、団体の活動に対して敬意を表し、「通学用マイクロバスが整備されることで、生徒たちが安全で快適な通学が可能となることは我々日本政府にとっても大きな喜びです。この協力により日本とブラジルの友情の絆がより一層深まる機会になれば嬉しく思います。」と祝辞を述べました。

バサネッチ会長は、「我々にとって日本政府に協力をして頂いたことは大変光栄である。団体の生徒及び職員を代表して感謝申し上げます。」と謝辞を述べました。



署名後握手するバサネッチ会長と福嶋総領事



バサネッチ会長と福嶋総領事

案件のプロフィール

案件名:「カタンドゥーヴァ養護学校マイクロバス整備計画」

被供与団体:カタンドゥーヴァ障害者を支える親と友の会

プロジェクト実施地:サンパウロ州カタンドゥーヴァ市

契約署名日: 2013年11月29日

供与額:100, 635米ドル(限度額)

案件概要:カタンドゥーヴァ障害者を支える親と友の会は1964年に設立され、周辺地域の知的・複合障害者約350名に対して教育、社会福祉及びセラピー等の療育を行っている。そのなかには、車椅子を必要とする重度障害を抱えている生徒もあり、現在使用しているバンは車椅子の昇降機等がなく、人力による昇降作業となるため、転倒などの危険性もあり、生徒の通学の安全が最大限確保できない他、職員等の身体的負担が大きいなど、多くの問題を抱えています。今回の協力は、車椅子固定装置及び昇降機付きの通学用マイクロバスの整備に対し支援を行うもので、草の根・人間の安全保障無償資金協力として、100,635米ドルを限度に資金協力を行うこととしています。これにより、障害者が安全に通学することが可能になるほか、同団体職員の負担を軽減させることにより、更に効果的な療育活動が行われることが期待されます。

供与品目: 特殊マイクロバス